

一般財団法人アイヌ民族博物館概要



2017

アイヌ民族博物館概要

●財団の概要

名 称	一般財団法人アイヌ民族博物館
所在地	〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番4号 電話番号 0144-82-3914 (代表) ファックス 0144-82-3685
Eメール	museum@ainu-museum.or.jp
ホームページ	http://www.ainu-museum.or.jp
設 立	昭和51年9月
認 可	北海道教育委員会 (51教総第4078号指令)
基本財産	6,750万円 (平成29年3月現在)
敷地面積	20,265 m ² (白老町設置に係る都市公園)
代表者	代表理事 野本勝信
職員数	正 職 員 27名 臨時職員 19名 嘱託職員 3名 計 49名 (平成29年4月現在)

●財団の沿革

-
-
- ・昭和40年5月、それまで白老市街地にあった観光地「白老コタン」をポロト湖畔（現在地）に移転し、「白老観光コンサルタント株式会社」が運営主体となり、「ポロトコタン」として営業を開始する。
 - ・昭和42年6月、ポロトコタン内に白老町立による「白老民俗資料館」がオープンする。
 - ・昭和51年9月、白老観光コンサルタント株式会社を発展的に解散させ、「財団法人白老民族文化伝承保存財団」を設立する。
 - ・昭和59年1月、白老アイヌに伝わるアイヌ古式舞踊が国の重要無形民俗文化財に指定され、当財団において伝承公開する。
 - ・昭和59年4月、民族資料常設展示施設として「アイヌ民族博物館」（新館）を開館。
 - ・昭和59年7月、博物館法による登録博物館となる。「設立の目的」及び「基本的性格」は下記の通りである。

設立の目的

アイヌ民族に関する有形・無形の資料を専門に展示・保存し、さらに調査研究、教育普及事業を総合的に行う社会教育施設として、白老町民はもとより、広域の人々の利用に供し、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

基本的性格

- ・アイヌ文化（有形・無形）の伝承と保存を行う。
 - ・アイヌ文化の学術的研究と教育研究を行う。
 - ・アイヌ文化の多面的普及事業を行う。
 - ・アイヌ文化に関する総合情報センターとして、各種多層にわたる来館者へ対応を行う。
 - ・アイヌ文化だけを総合的に扱う博物館とする。ただし、アイヌ文化との関連のもとで必要に応じ他の民族文化もその対象とする。
-
- ・平成2年3月、法人名を「財団法人アイヌ民族博物館」と改称する。
 - ・平成17年4月、白老民俗資料館（旧館）及び町所有民俗文化財が委譲される。
 - ・平成25年4月、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第45条の規定により、北海道から認可を受け「一般財団法人アイヌ民族博物館」へ移行する。

●博物館の概要

博物館設置	昭和59年4月2日
博物館法による登録	昭和59年7月20日（北博登第30号）
建物構造	鉄筋コンクリート造2階建
建物面積（合計）	1,715.49 m ²
博物館建設費	36,000万円
資金内訳	北海道費補助 5,000万円
	白老町費補助 5,000万円
	財団調達 26,000万円（借入金を含む）
館長	野本正博
学芸員	8名（役員含む）

収蔵資料

アイヌ民具資料総数	5,278
北方民族資料	234
アイヌ絵	110
文献資料	約 7,000
映像資料	約 700
音声資料	552
写真資料	整理中
展示資料	約 800
復元家屋等	15
飼育動物	6
アイヌ有用植物（栽培）	約 70 種

企画展・特別展等

◎企画展

第1回「アイヌのおまじない」	昭和59年7月22日～8月31日
第2回「北方民族展」	昭和60年7月5日～8月31日
第3回「東北地方とアイヌ文化」	昭和61年7月15日～8月31日
第4回「ソビエト連邦極東少数民族展」	昭和62年7月15日～8月31日
第5回「近代白老アイヌのあゆみ」	昭和63年7月15日～8月31日
第6回「北方圏の人々」	平成1年8月15日～9月30日
第7回「八重山展～石垣島のまつりと文化～」	平成2年8月5日～9月5日
第8回「アイヌの衣服文化」	平成3年9月1日～9月30日
第9回「亮昌寺資料展」	平成5年7月24日～8月29日
第10回「描かれた近世アイヌの風俗」	平成6年7月21日～9月3日
第11回「樺太アイヌ～児玉コレクション～」	平成8年9月1日～10月15日
第12回「絵画にみるアイヌの風俗」	平成15年8月1日～9月2日
第13回「北方民族の工芸」	平成15年9月6日～11月9日
第14回「ポロトコタンのエカシとフッチ展～詩人森竹竹市～」	平成17年2月1日～3月27日
第15回「西平ウメとトンコリ」	平成17年10月29日～平成18年1月23日
第16回「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から～」	

- 北海道立アイヌ民族文化研究センターと共催 平成 19 年 8 月 18 日～9 月 17 日
 第 17 回「絵葉書の中のアイヌ」 平成 19 年 11 月 23 日～平成 20 年 2 月 18 日
 第 18 回「アコラシノツ（アイヌの芸能）」平成 21 年 11 月 28 日～平成 22 年 1 月 24 日
 第 19 回「男の手業[マキリと煙草入れ]」平成 23 年 11 月 13 日～平成 24 年 1 月 15 日
 第 20 回「イヌイットの壁掛け～極北の生命とぬくもり～」
 平成 24 年 7 月 8 日～9 月 17 日
 第 21 回「sukupkur karpe～繋がる心と技～」 平成 26 年 2 月 15 日～5 月 10 日
 第 22 回「takuppe～湿地と谷地坊主」 平成 28 年 9 月 16 日～10 月 30 日
 第 23 回「白老アイヌの伝承記録展」 平成 28 年 11 月 4 日～12 月 11 日
 第 24 回「アイヌ語地名を地形で巡る シラオイ・ノボリベツ」展
 平成 29 年 1 月 15 日～2 月 19 日
 第 25 回「スクパクル カラペ～ことば・もの・ころ～」
 平成 29 年 2 月 25 日～3 月 21 日

◎特別展

- ・「北欧二ヶ国アイヌ民族文化展」
 アイヌ文化北欧巡回展実行委員会、社団法人北方圏センター、北海道フィン
 ランド協会、財団法人スウェーデン交流センターとの共催
 昭和 63 年 3 月 2 日～4 月 10 日
- ・「北方民族の詩-岡村吉右衛門の世界/シミョーション・ナジェーンのきり絵」
 北海道北方博物館交流協会と共催
 平成 5 年 9 月 5 日～9 月 19 日
- ・「祈りの文化～美と華の世界」
 ラップランド大学附属北極圏センターとの共催
 平成 6 年 4 月 14 日～9 月 30 日
- ・「アイヌの装い・美-土佐林コレクションの世界」
 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構と共催
 平成 10 年 2 月 1 日～2 月 22 日
- ・「テケカラペー女のわざードイツコレクションから」
 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構と共催
 平成 11 年 1 月 31 日～3 月 10 日
- ・「スコルト・サーミの世界」
 (フィンランド国立サーミ博物館の協力で実施)
 平成 12 年 4 月 28 日～7 月 31 日
- ・「魚は山で獲る～シラオイコタンの漁撈文化」 平成 19 年 9 月 22 日～11 月 18 日
- ・「タマサイ～連なるかたち・連なる想い」 平成 21 年 1 月 31 日～3 月 22 日
- ・「共生の世界へ 松浦武四郎とその時代展」 平成 26 年 10 月 25 日～11 月 30 日

・「フッチ・メノコたちの手わざ」 平成 28 年 4 月 15 日～5 月 10 日

◎テーマ展

- 第 1 回「アイヌの儀礼具～イクパスイを中心に」 平成 14 年 7 月 1 日～9 月 30 日
- 第 2 回「アイヌの編み文様～エムシアツを中心に」 平成 14 年 10 月 5 日～1 月 28 日
- 第 3 回「ポロトコタン冬のくらし展」 平成 15 年 2 月 8 日～2 月 9 日
- 第 4 回「まちの工芸品展」 平成 15 年 2 月 8 日～3 月 31 日
- 第 5 回「こどもアイヌ語教室作品展」 平成 21 年 9 月 25 日～10 月 31 日

◎写真展

「赤阪友昭写真展[The Myth－神話の記憶－]」 平成 21 年 10 月 3 日～11 月 8 日

◎作品展

- 「アイヌの晴れ着ルウンペ」 平成 23 年 3 月 14 日～5 月 31 日
- 「kaparamip－アイヌ民族の晴れ着」 平成 24 年 4 月 21 日～7 月 8 日
- 「アイヌ民族の晴れ着－チヂリ・チカラカラペー」 平成 25 年 6 月 15 日～8 月 18 日
- 「アイヌの晴れ着－木綿衣－」 平成 25 年 9 月 1 日～2 月 10 日
- 「彫刻教室 イヌイエ アン ロ！」 平成 29 年 3 月 18 日～5 月 21 日

主な調査・研究・文化伝承事業、刊行物一覧

◎調査事業

・聞き取り調査

アイヌの古老よりアイヌの口承文芸、信仰、生活習慣などについて聞き取る。

(テープに保存。『伝承記録』シリーズとして続刊中) 保存テープ数 552 本

話者 栃木政吉 (千歳) 山川弘 (帯広) 織田ステノ (静内)

葛野辰次郎 (静内) 日川善次郎 (屈斜路湖) 川上マツ子 (平取)

野本亀雄 (白老) 松永たけ (白老) 伊藤年吉 (白老)

田畑アキ (白老) 西島テル (平取) 川上シン (平取)

新井田セイノ (鶴川) ……他

・チャシ分布調査

・東北北部のアイヌ文化調査

- ・子どもゆめ基金教材作成事業「アイヌ民族博物館デジタルアーカイブス～祖父母の物語を子どもたちへ～」(平成 19 年度／平成 20 年度)

- ・アイヌ語音声資料のデータベース化事業（平成 23 年度／平成 24 年度／平成 25 年度）
- ・アイヌ民族文化財データベース化事業（平成 23 年度／平成 24 年度／平成 25 年度）

◎研究事業

- ・在ヨーロッパアイヌ民族資料の調査研究（昭和 60 年）
- ・共同研究会（スルムンクル文化の研究）（昭和 60 年～）
- ・アイヌ民族資料の国際分布に関するシンポジウム（昭和 60 年）
- ・アイヌの衣服文化シンポジウム（平成 3 年）
- ・アイヌのすまいチセに関する研究（平成 9 年度）
- ・『児玉コレクション』アイヌ民具資料調査・研究（平成 10～12 年度）
- ・文部科学研究「ロシア、アイヌ資料の総合調査研究」（平成 13 年度）
- ・伝承記録のデジタルアーカイブ化に関する研究（平成 13 年度）
- ・文部科学研究「海外アイヌ資料に基づくアイヌ文化の地域差・時代差に関する研究」（平成 13～15 年度）
- ・文部科学研究「観光開発と文化表象との関係調査ーオーストラリア博物館・美術館における先住民の展示についてー」（平成 16 年度）
- ・文部科学研究「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」（平成 17～19 年度）
- ・トンコリを中心とした西平ウメの伝承及びトンコリの総合的研究（平成 17 年度）
- ・白老アイヌの板綴り型漁船を用いた漁労活動の調査研究（平成 19 年度）

◎文化普及事業

- ・アイヌ文化セミナー ・ 講演会 ・ アイヌ文化教室 ・ 自然観察会、体験学習等

◎主な国際交流事業

- | | |
|-------------|---|
| 昭和 61 年 6 月 | フィンランド国イナリ州サーミ博物館と姉妹博物館提携 |
| 昭和 62 年 7 月 | 「ソビエト連邦極東少数民族展」開催にあたり、ハバロフスク州立博物館、ユジノサハリンスク郷土博物館より展示資料を借用 |
| 昭和 63 年 3 月 | フィンランド、スウェーデンの各都市において、アイヌ古式舞踊公演並びに民族資料展示 |
| 平成元年 9 月 | 白老町にて開催された「北方民族国際フェスティバル」に参加 |
| 平成 5 年 1 月 | サハリンのニヴフ族を当館に招待 |
| 平成 5 年 4 月 | 当館職員 2 名、サハリン州立博物館、ノグリキ町博物館を訪問 |
| 平成 5 年 8 月 | サハリン州立博物館、ノグリキ町博物館と博物館交流に関する覚書締結 |
| 平成 6 年 4 月 | フィンランド国ラップランド大学附属北極圏センターにて「アイヌ民族文化特別展」を開催（9 月まで） |
| 平成 6 年 9 月 | 白老町にて開催された「先住民国際フェスティバル」に参加 |

平成 7 年 2 月	イギリス大英博物館、ロンドン大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学にてアイヌ古式舞踊公演
平成 7 年 9 月	フィンランド民族舞踊組織「リンパレンミ」を当館に招待し、「北欧文化の集いーリンパレンミ・歌と踊りの夕べー」を開催
平成 8 年 6 月	フィンランドで開催された「第 24 回国際民族芸能・舞踊の祭典」及びデンマーク国立博物館において古式舞踊公演、サーミ民族博物館訪問
平成 9 年 12 月	台湾行政院原住民委員会の招待により「行政院原住民委員会設立 2 周年記念式典」に参席
平成 11 年 10 月	ドイツ伝統音楽祭「北の声ーシャーマンのルート」舞踊公演に出演
平成 11 年 10 月	白老町にて開催された「先住民国際フェスティバル」に参加
平成 12 年 4 月	「スコルトサーミの世界展」開催
平成 12 年 6 月	台湾行政院原住民委員会訪問
平成 12 年 10 月	台湾パイワン族一行が来館
平成 12 年 11 月	台湾屏東県獅子郷楓林村を当館役職員 12 名が表敬訪問
平成 13 年 5 月	カナダ・ヌナブト準州から 20 名のイヌイト青少年が来館、交流
平成 14 年 11 月	カナダ・スコミッシュ族 12 名来館
平成 14 年 12 月	台湾・ブヌン族来館
平成 16 年 5 月	フィンランド・サーミ博物館「アイヌー祈りの世界」協力
平成 18 年 11 月	セトウ民族来館、文化交流
平成 20 年 2 月	サーミ・マオリ来館、文化交流
平成 20 年 5 月	オーストラリア先住民アボリジニ交流事業
平成 23 年 5 月	東ネパール先住民との交流
平成 24 年 5 月	台湾基督長老教会総会原住民宣教委員会との交流
平成 24 年 10 月	アメリカ先住民との交流
平成 25 年 11 月	台湾原住民族との交流事業に職員 2 名が参加
平成 27 年 11 月	台湾原住民族との交流（アイヌ文化遺産地域活性化推進協議会での移動博物館事業）

◎主な儀式伝承事業

・イオマンテ（熊の霊送りの儀礼）の実施

昭和 52 年 2 月	栃木政吉翁を祭主に実施
昭和 53 年 2 月	栃木政吉翁を祭主に実施
昭和 55 年 2 月	栃木政吉翁を祭主に実施
平成元年 1 月	日川善次郎翁を祭主に実施
平成 2 年 2 月	日川善次郎翁を祭主に実施
平成 6 年 3 月	橋根義春翁を祭主に実施

- 平成 8 年 3 月 橋根義春翁を祭主に実施
- 平成 11 年 6 月 山丸郁夫職員を祭主に実施
- 平成 21 年 1 月 山丸郁夫職員を祭主に実施
- ・コタンノミ（集落の大祭）の実施
 - 平成 14 年 5 月、10 月以後、毎年春秋の年二回開催
- ・イワクテ（物神の霊送りの儀礼）の実施
 - 平成 4 年 11 月、平成 7 年 9 月、平成 9 年 5 月
- ・シヌラッパ（先祖供養祭）の実施
 - 昭和 52 年より毎年
- ・ペッカマイノミ（初鮭を迎える儀式）の実施
 - 毎年秋に実施
- ・チマサンケ（舟おろしの儀式）の実施
 - 昭和 61 年 6 月、平成 4 年 9 月、平成 9 年 9 月、平成 16 年 9 月、平成 19 年 9 月以降毎年
- ・伝統漁具マレクを用いた鮭の捕獲
- ・アイヌ民具製作
- ・丸木舟製作

◎主な古式舞踊公演（白老民族芸能保存会との共演も含む）

- 昭和 60 年 2 月 北海道アイヌ古式舞踊鑑賞会（札幌市）
- 昭和 60 年 7 月 つくば万国博覧会「日本の祭り」（つくば市）
- 昭和 62 年 9 月 第 5 回アジア伝統芸能の交流「アジアの神・舞・歌」（東京都）
- 昭和 62 年 12 月 民音芸能特選「ユーカラの世界・北海道の詩」（東京都）
- 昭和 63 年 3 月 北欧 2 カ国伝統芸能公演（フィンランド、スウェーデン）
- 平成元年 3 月 第 1 回アイヌ民族文化祭ーヌヤン・ヌカラン・ピラサレヤンー（札幌市） ※以後、平成 7 年の第 7 回まで毎年参加
- 平成元年 4 月 アジア太平洋博覧会「日本のまつり」（福岡市）
- 平成 2 年 7 月 花の万博 EXPO' 90「北海道の日」（大阪市）
- 平成 2 年 12 月 第 3 回サントピア沖縄「杜の賑わい祭りイン八重山' 90」（石垣市）
- 平成 3 年 9 月 第 15 回日本民謡まつり「アジア・太平洋うたとおどりの祭典」（東京都）
- 平成 5 年 9 月 第 35 回関東ブロック民俗芸能大会（水戸市）
- 平成 5 年 9 月 国際先住民年ウイークイン北海道「記念シンポジウム」（札幌市）
- 平成 5 年 10 月 アイフォニック地球音楽シリーズ 18「アイヌ古式舞踊」（伊丹市）
- 平成 7 年 2 月 イギリス公演（大英博物館人類博物館、ロンドン大学、オックスフ

	オード大学、ケンブリッジ大学)
平成 8 年 6 月	フィンランド公演「第 24 回国際民俗芸能・舞踊の祭典ーユタヤイ セット」
平成 8 年 6 月	デンマーク国立博物館における公演
平成 11 年 10 月	ドイツ公演「北方民族芸能祭」(ベルリン、ボン)
平成 12 年 8 月	西暦 2000 年世界民族芸能祭 (堺市)
平成 12 年 9 月	アイヌ文化フェスティバル古式舞踊参加 (名古屋市)
平成 12 年 10 月	えぞミレニアム国際民俗芸能祭 (札幌市)
平成 13 年 2 月	武四郎祭り (三重県三雲市)
平成 16 年 3 月	天皇古希奉祝行事・御前公演 (東京都)
平成 17 年 2 月	文化庁主催国際民俗芸能フェスティバル (東京都)
平成 18 年 2 月	内閣府主催「首里城花祭り」(沖縄県宜野湾市)
平成 19 年 6 月	全国植樹祭 (苫小牧市)
平成 21 年 1 月	アイヌ民族博物館フェア in ニセコ
平成 21 年 8 月	中国瀋陽旅遊祭 (中華人民共和国瀋陽市、上海市)
平成 21 年 12 月	アイヌ民族博物館フェア in 札幌
平成 22 年 1 月	アイヌ民族博物館フェア in ニセコ
平成 22 年 5 月	韓国ハイソウルフェスティバル (韓国ソウル市)
平成 22 年 8 月	アイヌみんぱくフェア in はこだて
平成 22 年 9 月	2010 年上海国際博覧会「北海道の日」
平成 22 年 10 月	アイヌみんぱくフェア in 円山動物園
平成 22 年 12 月	アイヌミュージアムフェア in 横浜
平成 23 年 9 月	天皇陛下視察来館・御前公演
平成 23 年 10 月	アイヌミュージアムフェア in 円山動物園
平成 23 年 11 月	アイヌミュージアムフェア in 大阪
平成 24 年 3 月	アイヌミュージアムフェア in 仙台
平成 24 年 5 月	ソウルフレンドシップフェア 2012 (韓国ソウル市)
平成 25 年 2 月	アイヌミュージアムフェア in 広島
平成 25 年 7 月	アイヌミュージアムフェア in 名古屋 (名古屋民族舞踊研究かすりの会定期公演「自然とともに生きる」)
平成 26 年 1 月	アイヌミュージアムフェア in 福岡
平成 26 年 11 月	アイヌミュージアムフェア in 名古屋
平成 26 年 11 月	アイヌミュージアムフェア in 松阪
平成 28 年 1 月	北海道・青森県トップセールスセミナー (東京都)
平成 28 年 3 月	北海道新幹線開業イベント (函館市)
平成 28 年 8 月	アイヌミュージアムフェア in タイランド 2016

平成 28 年 9 月 第 54 回江差追分全国大会
平成 15 年～ アイヌ民族博物館夜間特別公演「ポロトコタンの夜」
(毎年夏に実施)

◎刊行物一覧

図録・資料目録

「北方民族展」図録	昭和 60 年
「東北地方とアイヌ文化展」図録	昭和 61 年
「ソビエト連邦極東少数民族展」図録	昭和 62 年
「シラオイコタンー木下清蔵遺作写真集」	昭和 63 年
「児玉資料目録」Ⅰ	平成元年
「児玉資料目録」Ⅱ	平成 3 年
「アイヌの衣服文化ー着物の地方的特色について」展図録	平成 3 年
「アイヌの衣服文化」	平成 4 年 (平成 13 年)
「田中忠三郎コレクション目録」	平成 4 年
「亮昌寺資料目録」	平成 5 年
「描かれた近世アイヌの風俗」図録	平成 6 年
「樺太アイヌ」展図録	平成 8 年
「西平ウメとトンコリ」	平成 18 年
「男の手業[マキリと煙草入れ]」展図録	平成 24 年

伝承記録

1 「山川弘の伝承」	平成 6 年
2 「川上シンの伝承」	平成 7 年
3 「上田トシのウエペケレ」(CD付)	平成 9 年
4 「川上まつ子の伝承」植物編	平成 11 年
5 「伝承 鳥」(CD付)	平成 13 年
6 「川上まつ子の伝承 植物編 2」	平成 14 年
7 「葛野辰次郎の伝承」(CD, DVD付)	平成 14 年

伝承事業報告書

「イオマンテー熊の霊送りー報告書」	平成 2 年
「イオマンテー熊の霊送りー報告書」Ⅱ	平成 3 年
「ポロチセの建築儀礼」	平成 12 年
2 「イオマンテ 日川善次郎翁の指導による」	平成 15 年

入門・概説書

アイヌ民族博物館パンフレット	昭和 59 年
「アイヌ文化の基礎知識」	昭和 62 年 (平成 5 年)

アイヌの歴史と文化《韓国版》	平成 8 年
アイヌの歴史と文化《中国版》	平成 8 年
アイヌの歴史と文化《改定版》	平成 8 年（平成 14 年）
アイヌの歴史と文化《点字版》	平成 17 年
アイヌと自然シリーズ	
第 1 集「アイヌと野鳥」	昭和 61 年
第 2 集「アイヌと植物《食用編》」	平成元年
第 3 集「アイヌと植物《樹木編》」	平成 5 年（平成 16 年）
第 4 集「アイヌと植物《薬草編》」	平成 16 年
研究報告	
「アイヌ民族博物館研究報告」創刊号	昭和 62 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 2 号	平成元年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 3 号	平成元年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 4 号	平成 6 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 5 号	平成 8 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 6 号	平成 10 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 7 号	平成 13 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 8 号	平成 16 年
「アイヌ民族博物館研究報告」第 9 号	平成 18 年
単行本	
アイヌ古式舞踊	昭和 59 年
絵本「ポロシルンカムイになった少年」	昭和 61 年（平成 14 年）
満岡伸一著「アイヌの足跡」第 8 版	昭和 62 年
財団設立 20 周年記念誌「二十年の歩み」	平成 8 年
満岡伸一著「アイヌの足跡」第 9 版	平成 15 年
まんがでウエペケレ（昔話）「カンナカムイトゥレシ（雷神の妹）」	平成 15 年
まんがアイヌ昔話「雷神の妹」	平成 15 年
研究書	
シンポジウム「アイヌの衣服文化」	平成 6 年
フォスコ・マライニ著「アイヌのイクパスイ」	平成 6 年
シンポジウム録「アイヌのすまいチセを考える」	平成 10 年
齋藤亜三子著「アイヌ民族のガラス玉に関する考古学研究」	平成 15 年
ライブラリ	
アイヌ民話ライブラリ 1 上田トシの民話 1	平成 27 年
アイヌ民話ライブラリ 2 上田トシの民話 2	平成 27 年

主な補助事業・受託事業実績

平成 15 年度

- ・アイヌ文化伝承解説員養成事業 (白老町受託＝緊急雇用対策事業)
- ・金色の家並み伝承事業 (" ")
- ・白老地方の伝統的衣装「ルウンペ」伝承事業 (" ")
- ・アイヌ文化伝承保存事業 (" ")
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (白老町)
- ・中核イオル整備促進事業 (")

平成 16 年度

- ・アイヌ文化振興にかかる総合的人材育成事業 (" ")
- ・アイヌ文化伝承保存事業 (" ")
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (白老町)
- ・中核イオル整備促進事業 (")

平成 17 年度

- ・地域提案型雇用創造事業（パッケージ事業）「アイヌ文化を核としたカルチャーツーリズム担い手育成事業」（広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会受託）
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (白老町)
- ・中核イオル整備促進事業 (")

平成 18 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（アイヌ文化振興・研究推進機構受託）
- ・地域提案型雇用創造事業（パッケージ事業）「アイヌ文化を核としたカルチャーツーリズム担い手育成事業」（広域雇用創出クラスター担い手育成事業推進協議会受託）
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (")

平成 19 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業（アイヌ文化振興・研究推進機構受託）
- ・イオル体験交流事業 (")
- ・イオル伝統ライブラリー事業 (")
- ・ポルト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (")
- ・多言語ガイドシステム導入事業 (登別白老観光戦略コンソーシアム)
- ・アイヌ民族伝統楽器演奏体験プログラム体験事業 (")
- ・年賀寄附金配分助成金 (日本郵政公社)

- ・子どもゆめ基金 (独立行政法人国立青少年教育振興機構)
- ・伝統工芸複製事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構)
- ・白老アイヌの板綴り方漁船を用いた漁労活動の研究 (//)

平成 20 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・イオル体験交流事業 (//)
- ・イオル伝承者育成事業 (//)
- ・イオルチセ建設事業 (//)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (//)
- ・アイヌ民族博物館運営事業 (//)
- ・子どもゆめ基金 (独立行政法人国立青少年教育振興機構)

平成 21 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・イオル伝承者育成事業 (//)
- ・イオル体験指導員育成事業 (//)
- ・イオルチセ建設等事業 (//)
- ・カヤの分布調査事業 (//)
- ・ふるさと雇用再生特別対策推進事業 (白老町受託)
- ・地方の元気再生事業 (//)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (//)
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (//)

平成 22 年度

- ・イオル再生事業森野地区自然素材等栽培事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・イオル伝承者育成事業 (//)
- ・イオルチセ管理事業 (//)
- ・イオルチセ維持補修事業 (//)
- ・ふるさと雇用再生特別対策推進事業 (白老町受託)
- ・観光コンシェルジュ担い手事業 (白老町受託=緊急雇用対策事業)
- ・アイヌ文化海外発信事業 (// //)
- ・アイヌ伝統的文化の確かな継承促進事業 (//)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (//)
- ・アイヌ民族博物館調査研究強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (//)

- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (")
- ・魅力向上PR事業 (")

平成 23 年度

- ・イオル伝承者育成事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・ふるさと雇用対策推進事業 (白老町受託)
- ・イオル再生事業空間形成事業 (")
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (")
- ・博物館コンシェルジュ育成事業 (白老町受託＝緊急雇用対策事業)
- ・アイヌ文化伝統的的衣服製作伝承事業 (" ")
- ・アイヌ語音声資料のデータベース化事業 (文化庁受託)
- ・観光振興・活性化事業 (")
- ・アイヌ民族博物館調査研究強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (")
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (")
- ・アイヌ文化施設整備事業 (")
- ・魅力向上PR事業 (地域再生推進協議会)

平成 24 年度

- ・イオル伝承者育成事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)
- ・アイヌ文化伝承・保存・公開事業 (" ＝緊急雇用対策事業)
- ・白老町の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 (文化庁受託)
- ・ミュージアム活性化事業 (")
- ・アイヌ文化を次世代へつなぐ確かな継承事業 (")
- ・アイヌ民族博物館調査研究強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ文化調査研究等推進事業 (")
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (")

平成 25 年度

- ・イオル伝承者育成事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)
- ・アイヌ民族博物館移動博物館事業 (文化庁受託)
- ・アイヌ文化遺産を活かした地域活性化事業 (")
- ・アイヌ文化基盤強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (")

平成 26 年度

- ・イオル伝承者育成事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)

- ・アイヌ民族博物館移動博物館事業 (文化庁)
- ・アイヌ文化遺産を活かした地域活性化事業 (〃)
- ・アイヌ文化基盤強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (〃)
- ・アイヌ資料等収蔵状況調査及び人材育成業務 (文化庁受託)
- ・象徴空間におけるアイヌの伝統等に係る体験交流等活動基本計画策定業務
(国土交通省)

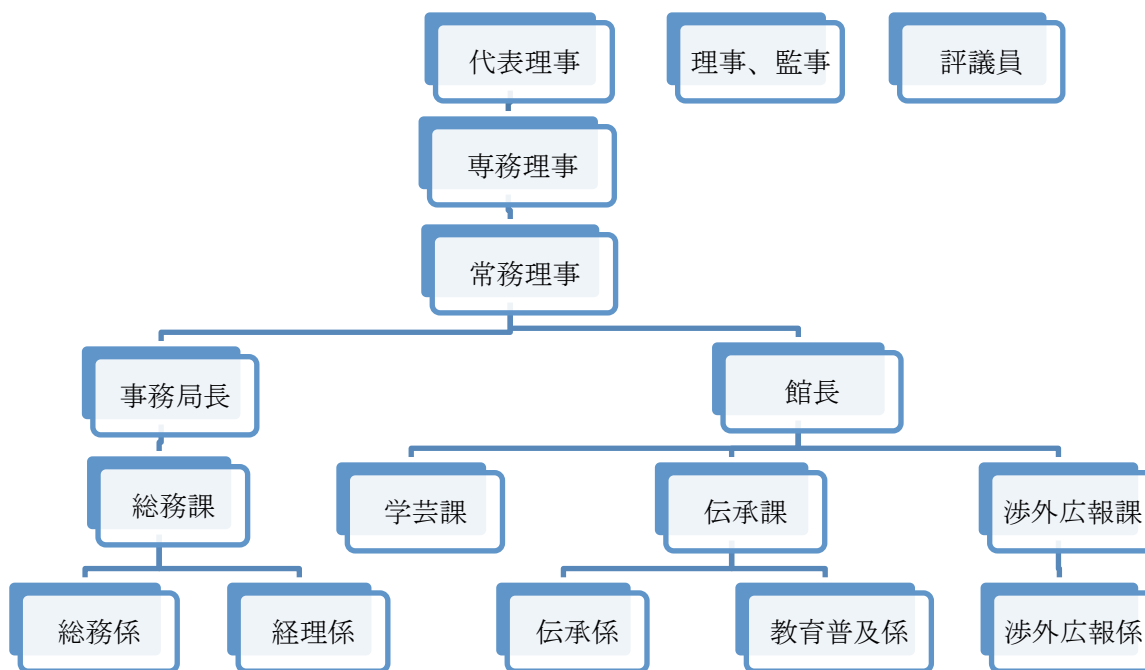
平成 27 年度

- ・イオル伝承者育成事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)
- ・アイヌ民族博物館移動博物館事業 (文化庁)
- ・アイヌ文化基盤強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (〃)
- ・アイヌ資料等収蔵状況調査及び人材育成業務 (文化庁受託)
- ・アイヌ語のアーカイブ作成支援事業 (〃)
- ・「民族共生の象徴となる空間」におけるアイヌの伝統等に係る
体験交流等活動に関する検討業務 (国土交通省)

平成 28 年度

- ・イオル伝承者育成事業 (アイヌ文化振興・研究推進機構受託)
- ・ポロト公衆トイレ管理事業 (白老町受託)
- ・アイヌ文化基盤強化対策事業 (白老町)
- ・アイヌ民族博物館社会教育事業 (〃)
- ・アイヌ資料等収蔵状況調査及び人材育成業務 (文化庁受託)
- ・アイヌ語のアーカイブ作成支援事業 (〃)
- ・白老町みんなの基金事業 (白老町)
- ・ほっかいどう遺産 WAON (北海道遺産協議会)
- ・地域特性を活かした商業観光・雇用創出応援事業 (白老町商工会)
- ・象徴空間を支えるアイヌ文化伝承・普及啓発活動推進事業
アイヌミュージアムフェア in タイランド 2016 (白老町)
- ・象徴空間を支えるアイヌ文化伝承・普及啓発活動推進事業
takuppe～湿地と谷地坊主～ (白老町)
- ・象徴空間を支えるアイヌ文化伝承・普及啓発活動推進事業
ルイカ・プロジェクト「白老アイヌの伝承記録」展 (白老町)

組織



役員		評議員	主な職員		
代表理事	野本勝信	大須賀るゑ子	館長	野本正博	常務理事兼務
専務理事	村木美幸	川田聖	事務局長	野本裕二	理事、総務課長兼務
常務理事	野本正博	今野邦紀	総務課主幹	上河由紀	総務係長兼務
理事	中村政信	山田桂一	経理係長	立石信一	
〃	加藤忠	中野勝征	伝承課長	野本三治	
〃	壬生龍之介	田村文一	教育普及係長	石田慈久恵	
〃	中出正	伊東稔	渉外広報課長	西條林哉	
〃	長谷川邦彦	岩間隆一	学芸課長	野本正博	
〃	野本裕二		学芸係長	八幡巴絵	
監事	佐藤俊雄		学芸員	安田益穂	
〃	舛田良道		〃	押野朱美	
			〃	矢崎春菜	
			〃	堀江純子	
			〃	竹内隼人	

入場者の推移

◎財団設立以来の有料入場者数

(単位：人)

年度	入場者数	年度	入場者数
昭和 51 (1976) 年度	623, 559	14 (2002) 年度	264, 478
52 (1977) 年度	570, 954	15 (2003) 年度	284, 275
53 (1978) 年度	599, 327	16 (2004) 年度	265, 134
54 (1979) 年度	634, 788	17 (2005) 年度	230, 938
55 (1980) 年度	645, 052	18 (2006) 年度	246, 963
56 (1981) 年度	616, 374	19 (2007) 年度	256, 240
57 (1982) 年度	579, 551	20 (2008) 年度	214, 026
58 (1983) 年度	548, 391	21 (2009) 年度	195, 383
59 (1984) 年度	602, 166	22 (2010) 年度	202, 803
60 (1985) 年度	579, 597	23 (2011) 年度	144, 683
61 (1986) 年度	613, 999	24 (2012) 年度	155, 991
62 (1987) 年度	707, 064	25 (2013) 年度	185, 006
63 (1988) 年度	733, 587	26 (2014) 年度	188, 891
平成元 (1989) 年度	806, 486	27 (2015) 年度	194, 947
2 (1990) 年度	840, 116	28 (2016) 年度	194, 237
3 (1991) 年度	871, 621		
4 (1992) 年度	772, 682		
5 (1993) 年度	650, 356		
6 (1994) 年度	577, 105		
7 (1995) 年度	507, 068		
8 (1996) 年度	512, 202		
9 (1997) 年度	474, 821		
10 (1998) 年度	407, 288		
11 (1999) 年度	406, 110		
12 (2000) 年度	318, 392		
13 (2001) 年度	295, 009	合 計	18, 717, 660

◎入場者の構成

平成 28 年度入場者数 194,237 人

